

2024 年 3 月 28 日

2023 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 お茶会オレンジカネ ミッド
代表者・役職名 氏名 本木 貴久

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「介護かるた」を作り一つたり地域で元気に暮らそう

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

定年退職した地域デビューを考える。介護予防講座を受け「介護予防リーダ」「お互いスマイル」となる。認知症の夫と講座を受けオレンジングをもらう。夫と自治会館でお茶会を始め。認知症がすみ。自宅に認知症カフェと2月1回開催している

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

高齢社会とつながっている。高齢に「おもてなし」された地域で暮らしていくには、介護予防で元気に暮らしていくといい。また、生活の不便解消には介護保険の利用は必要とされている。「お互いスマイル」の活動でいろいろ知識、情報を得ることができている。必要に応じて正しい情報が伝わるための現状、サービスをつなぐこと。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

つなぐたいしい介護サービスなど読み札は「お互いスマイル」が中心。包括センター、ケアマネ、訪問看護ステーション、病院、高齢福祉課に依頼する。高齢福祉課による講座を受講した個人オレンジ3人の方と読み札と絵札の検討をする。西部包括センター、高齢福祉課の協力により絵札の作りや写真、お互い中学生の絵をとり入れる。

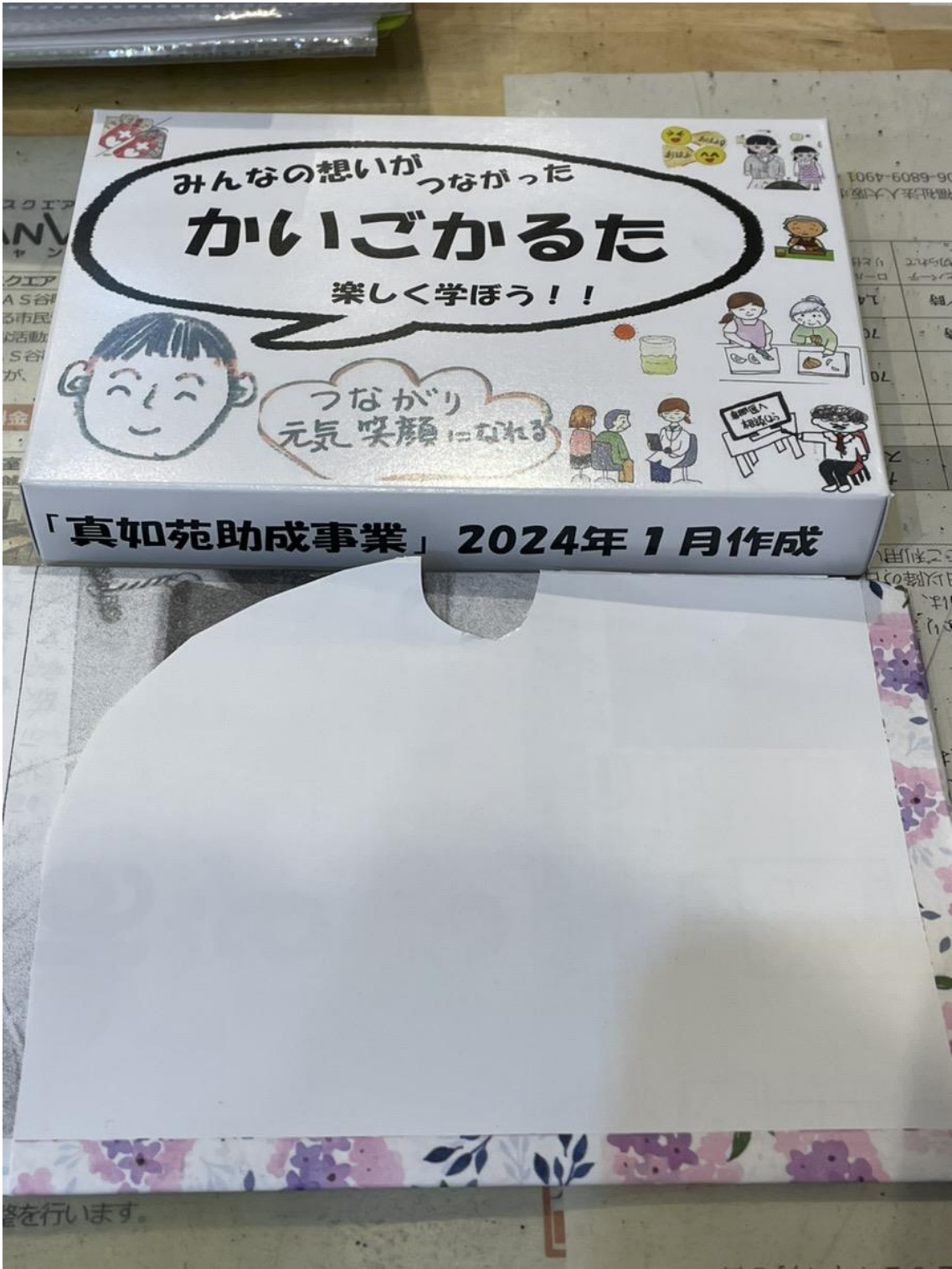
5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

(結果) かるた作成にあたりいろいろの方に協力していただきつなぐたいしいが広がった。例えば、ボランティア、市民活動センターには、かるた発注先や助成金の申請についての助言をいただいた。
(成果) 完成したかるたを配った学校やお互いスマイルからは、認知症自体や認知症に対する社会資源の学びにつなぐたいしいという感想が寄せられている(別紙参照)
(社会的な変化) 様々な機関にかるたを配ることによって、例えばFRCIによる警察が認知症の行方不明者を捜せるサービスの周知につなぐたいしい。投票困難者に対する選挙管理委員会の対応改善につなぐたいしいことと期待

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度まで

100セット予定したがコロナも増えている。配りたい場所も増え150セット発注し1セト2170円している。たかひい方、説明プリント作成(紙イクリ代お支払)2500円くらい販売は好評で売れは考える。学校や人数の多いサロンでは、かるただけでは足りないの。高齢福祉課、4つの包括センターにはかるた2セトお配りしているのが貸し出しをお返している。その結果、当初予定よりも支出が増加したから人件費は、協力していただいた方が辞退され記念品を配ることに変更し、不足分については団体負担

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



みんなの思いが つながった

かいごかるた

楽しく学ぼう!!



つながり
元気笑顔になれる



「真如苑助成事業」 2024年1月作成

を行います。

